

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームふれあい愛知

作成日 : 令和3年 4月2日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービス事業所としての社会的役割についても、再度全職員で確認し、理念を実現していくための具体的な方針や目標等についての検討や工夫が望まれる。	グループホームが地域との関係性で運営している事を各職員に周知し、再度理念の追加をする。	4月の業務ミーティングにて、理念の再作成を職員全体で行う。	2 か月
2	35	複合施設の2階に居住している環境と、夜間の職員体制が少ない中、上階にも数十人の住人がいることから、夜間想定避難訓練が極めて重要であり、早期の実施が望まれる。	次年度は規定内の規定回数を確実に行う。	R3. 3月25日に夜間想定訓練を実施済み。次年度は、グループホーム独自でもできるように日程調整を行う。	12 か月
3	47	利用者の服薬支援について、事故報告書の書式の検討、及び報告書に基づいた事故の再発防止の検討会議の実施、あわせて、薬の管理方法や薬の量、職員の役割等、投薬までの流れを図式化する等、支援内容の明確化が望まれる。	服薬の事故報告書を確実に減らしていく。薬の勉強会も事業所勉強会を開催する。	事故報告書を毎月のミーティングで確認し合う事を継続。助言にあった通りの服薬担当やチェック体制を強化する。	12 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。